



トマト編



病害虫注意報 2023年9月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



マルハナバチ導入前のポイント 葉かび病対策



症状 ▶ 退色から白色の円形病斑を生じ次第に黄化する
▶ 葉裏病斑上に灰褐色などのビロード状のカビを生じる

多発条件 ▶ 20～25℃の温度条件
▶ 多湿条件

対策 ▶ 発病株は圃場外へ適切に処分する
▶ 余分な下葉はかきとる
▶ 適切な肥培管理を行う



タバココナジラミ オンシツコナジラミ

多発条件 ▶ 20～30℃の範囲が生育適温
▶ 圃場周囲に雑草
▶ 苗段階からの持込

被害 ▶ 吸汁によりウイルスを媒介(黄化葉巻病・黄化病)
▶ 排泄物によってすす病が発生

対策 ▶ 黄色の粘着板を使用する
▶ 施設周辺の雑草を除去する
▶ 施設の側窓、天窓、出入り口などの開口部に網目0.4mm以下の防虫ネットを張る

今月のおすすめローテーション

時期	RACコード	適用病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 マルハナバチ
9月①	28	コナジラミ類・アザミウマ類 ハメグリバエ類・オオバコガ ハスモントウ・トマトキバガ等	兼商ヨーバルフロアブル	2,500～5,000倍 (コナジラミ類・アザミウマ類・トマトキバガ2,500倍)	前日	3回	加14日
	4A	コナジラミ類・カメムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2,000～3,000倍 (カメムシ類2,000倍)	前日	2回	14日以上
9月②	6	コナジラミ類・トマトビゲニ トマトハメグリバエ・トマトキバガ等	アグリメック	500～1,000倍	前日	3回	7日
	9B	コナジラミ類・アブラムシ類	コルト顆粒水和剤	4,000倍	前日	3回	7日
9月③	7	すすかび病・葉かび病 うどんこ病・菌核病 灰色かび病等	予 アフェットフロアブル	2,000倍 (うどんこ病2,000～4,000倍)	前日	3回	1日
	5	コナジラミ類・アザミウマ類 ハメグリバエ類・トマトキバガ オオバコガ・ハスモントウ	ディアナSC	2,500～5,000倍 (コナジラミ類2,500倍)	前日	2回	1～3日
9月④	3	すすかび病・葉かび病 うどんこ病	予・治 トリフミン水和剤	3,000～5,000倍 (うどんこ病・すすかび病3,000倍)	前日	5回	1日
	4C	コナジラミ類・アブラムシ類 トマトビゲニ	トランスフォームフロアブル	1,000～2,000倍 (アブラムシ類2,000倍)	前日	2回	2～5日

高温対策に!

効果の持続は約3か月
放出量は2倍

新登場!

すすみどりXL



香り成分で、葉焼けや萎れ等の高温障害を予防!
更に光合成を向上
ハウス内に吊るすだけ
10～20本/10a

※手で折り曲げてから吊るしてください

弱った株の回復に!

茶葉から抽出した植物活力資材

カテキンパワー

1,000倍 葉面散布

大雨や強風で植物に傷がついたときに散布!
カビの病気を防ぐ農薬との混用がおすすめです☆

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤(ファイトカルを除く)、微量要素剤、鉄など金属を含む葉面散布肥料との混用は避ける。井戸水で、鉄分などを多く含む水での使用も避ける。



肥料登録
生第91402号